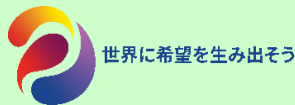


沼津西ロータリークラブ



2024～2025 年度・クラブテーマ

「Try It Now」やってみよう

会長 鈴木 和憲 / 幹事 久松 但

第 1509 回 第 34 巻 08 号 2024 年 09 月 05 日

■■本日のプログラム■■

米山奨学生卓話 レ・テイ・チョウ・クインさん
理事会④

■9月のプログラム■

1510 回 12:30 09 月 12 日(木)	ガバナー公式訪問 クラブ管理運営 委員会 小泉久司ガバナー
09 月 19 日(木)	祝日週休会
1511 回 12:30 09 月 26 日(木)	クラブフォーラム③ クラブ細則・運営規定について

■10月のプログラム■

1512 回 12:30 10 月 03 日(木)	外部卓話 アスルクラロ沼津 社長 高島雄大様
1513 回 18:00 10 月 08 日(火) 沼津パ-サイト	沼津 4 クラブ合同例会 沼津北ロータリークラブ 移動例会
1514 回 12:30 10 月 17 日(木) 10 月 24 日(木)	外部卓話 沼津観光協会 会長 高野貴好様 理事会⑤ 裁量休会
1515 回 12:30 10 月 31 日(木)	合同奉仕作業報告 会長・幹事

例会場 〒410-0046 沼津市米山町 3-37

アクアガーデン迎賓館沼津

TEL 055-920-5200

事務局 久松会計事務所内

TEL 055-961-2050 FAX 055-961-2600

E-mail: numawestrc@gmail.com

例会日 毎週木曜日 12:30 点鐘

公共イメージ向上委員長 名古 良輔 / 編集者 富岡 由樹

会長挨拶

● 会長 鈴木 和憲

9 月は「基本的教育と識字率向上月間」です。

そこで今日は、このことについてお話ししたいと思います。

読み書きのできない 15 歳以上の人の数は、世界に約 7 億 7500 万人。これは全世界の成人の 17% に当たります。

しかも、学校に通ってない子供は世界に 6700 万人いると言われていています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが、私たちロータリアンの目標です。

今年 4 月、国際ロータリーのジェニファー・ジョーンズ会長がグアテマラ高地の農村にある小学校を訪れた時、「この国の大統領になりたい人は誰？」と尋ねると、生徒たちの手が一斉に上がりました。ロータリーが支援する読書プログラムが村で始まる前は、生徒たちが 2、3 年で退学してしまうことがよくあったそうです。

「読書は私たちの社会を変えるでしょう。読書は無知を克服するための強力な手段です」と校長のヴィルマ・ニゼス・モレイラさんは話しています。

基本的教育と識字力は、貧困問題や保健上の課題に取り組むために必要となり、地域社会の発展を導き、争いのない世界を実現するには欠かすことのできない要素です。ロータリーでは「基本的教育と識字率向上」の重点分野に該当する数多くのプロジェクトが実施され、国連ミレニアム開発目標を力強くサポートしています。識字率は世界全体で向上しており、教育における男女間の格差も縮小してきていますが、今後も状況を改善していくにはさらなる支援が必要となります。

これまでの活動による成果を確認し、さらなる支援の重要性について認識を深めたいと思います。

出席報告 会員数 21 名			
例会	会員数	出席数	出席率
1509 回	19 名	17 名	89.47%

◎ 米山奨学生 レ・テイ・チョウ・クインさん

◎ 欠席者(2名) 羽切勝利、本村文一

◎ 他クラブへの出席者

杉山真一、富岡由樹(9/1 RLI パート①)

山田和典(9/5 IAC 例会)

◎ スマイル報告

- 1.鈴木和憲、2.久松 但、3.名古良輔、4.宮島賢次、5.山本宜司：レ・ティ・チョウ・クインさん、本日の卓話、よろしくお祈りします。
- 6.内田逸美、7.瀬川ゆう子：すみません。本日、所用にて早退させて、いただきます。

幹 事 報 告

1.他クラブの例会変更

①富士山吉原 RC

9/12(木) 夜間例会に変更 MU：無し

9/26(木) 休会 MU：無し

② 沼津柿田川 RC

9/11(水)→9/7(土)の柿田川清掃奉仕事業へ変更

MU：無し

9/18(水) 夜間例会に変更 MU：無し

9/25(水) 休会 MU：無し

2.報告、連絡事項

- ①本日は、例会後、理事会がありますので、各理事は提案資料の提出をお願いいたします
- ③11/10(日)地区大会、12/1(日)沼津 4RC 対抗ゴルフコンペ の出欠席をご記入ください。
- ④次週は、ガバナー公式訪問です。

理 事 会 報 告

1.報告事項

- ① レ・ティ・チョウ・クインさん記念品の件
→ 記念品 (ボールペン) を贈呈しました。
- ② ガバナー公式訪問の件
→ 別紙のとおり報告しました。

2.協議事項

- ① 10 月度例会プログラムの件 クラブ管理運営委員 杉山真一君 → 別紙プログラムにつき、承認
- ② 地区大会登録料等の件 → 運営規定に従い、クラブ負担とする。
- ③ 地区大会交通費の件 → 運営規定に従い、クラブ負担とする。
- ④ 10 月 2 件の外部卓話、謝礼の件 → 承認する。
- ⑤ 渡邊勝也君より休会届の提出がありました。期間は、9/5～10/31 → 承認する。

卓 話



米山奨学生

レ・ティ・チョウ・クインさん

皆さん、こんにちは。本日は、ベトナムの地理と生態系の特異性について、皆さんと一緒に深く掘り下げていく機会を得られて大変嬉しく思います。ベトナムはその多様な自然環境で知られており、これからご紹介する内容が、皆さんにとって興味深く、かつ有益なものになることを願っています。

本日のプレゼンテーションでは、ベトナムの代表的な生態系を詳しく紹介し、その多様性と重要性についてお話しします。また、エコツーリズムの観点から、自然保護区や観光地の魅力についても触れ、皆さんにベトナムの自然環境をより深く理解していただけることを目指します。

まず初めに、ベトナムの地理的な位置について簡単にご説明します。ベトナムは東南アジアに位置し、南シナ海に面しています。国土は細長く、北から南まで約 1,650km にわたって広がっており、その中には様々な気候帯が存在しています。この多様な気候と地理が、ベトナムにおける豊かな生態系を形成する基盤となっています。

●マングローブ林

最初に取り上げるのは、ベトナムの沿岸部に広がるマングローブ林です。特にカンギオ (Can Gio) やバクリウ (Bac Lieu) の地域に広がっているマングローブ林は、海岸線の保護、干潟や湿地のエコシステムの支援といった非常に重要な役割を果たしています。マングローブ林は、海岸線の侵食を防ぎ、海洋生物の生息地として機能しています。ベトナムの漁業にとっても非常に重要で、漁師たちの生活を支えています。また、マングローブ林は二酸化炭素を大量に吸収する能力があり、地球温暖化対策としても重要視されています。ここでは、気候変動に対する防波堤としての役割についても強調することができます。この地域で見られる動植物には、さまざまな種類のカニ、魚、そしてデークやマンブといった植物が含まれています。これらの植物や生物は、独自の生態系を支え、地域の生物多様性に大きく寄与しています。



●山岳生態系について

次に、ベトナム北部のホアンリエンソン山脈 (Hoang Lien Son) についてお話しします。この山脈は、ベトナムで最も高い峰であるファンシパン山 (Fansipan) を含む地域で、豊かな生態系が広がっています。ホアンリエンソン山脈は、涼しい気候と豊かな自然環境が特徴で、多くの希少な動植物が生息しています。

例えば、ベトナムの国が保護する必要のある動物のヒグマや、色とりどりのランの花々がこの地域に見られます。また、この地域は、少数民族の文化と密接に結びついており、山岳地帯での持続可能な生活様式が形成されています。少数民族の伝統的な知識や技術は、地域の生態系と調和しながら生きるための重要な資源であり、その価値は見逃せません。

●平野生態系

続いて、メコンデルタ (Mekong Delta) や紅河デルタ (Red River Delta) の平野地帯についてお話しします。これらのデルタ地域は、ベトナムの米生産の中心地であり、豊かな土壌と灌漑システムにより、ベトナムの食料供給を支えています。

メコンデルタでは、農業が盛んであり、特に稲作が広く行われています。ここでは、多様な水生生物や湿地の植物が生息しており、例えば、トラ・フィッシュや蓮の花が見られます。また、伝統的な漁業や農業が地域の生活と文化に密接に結びついています。これらの活動は、地域経済の基盤を形成するとともに、持続可能な資源利用のモデルを提供しています。

さらに、メコンデルタの環境は非常にデリケートであり、気候変動や上流のダム建設による影響を受けやすいです。特に、洪水や塩害のリスクが高まっており、これに対する対策が急務となっています。これに関連して、地域住民がどのようにして自然と共生し、環境変動に適応してきたかについても触れていきます。

●エコツーリズムと自然保護

次に、エコツーリズムの観点から、ベトナムの自然保護区や観光地の魅力についてお話しします。エコツーリズムは、観光客に自然環境を楽しんでもらいながら、その保護を促進する重要な手段です。

まず、フォンニャ - ケーバン国立公園 (Phong Nha - Ke Bang) についてご紹介します。この公園はベトナム中部に位置し、世界遺産にも登録され

ています。特にサンダン洞窟 (Son Doong Cave) は、世界最大の洞窟として知られており、その壮大な景観は多くの冒険家や観光客を魅了しています。訪問者は、洞窟探検やトレッキングを通じて、自然の美しさと地形の独特さを体験することができます。

また、この地域は多くの希少な動植物が生息しており、洞窟内やその周辺で見られる生物たちは、地球の生物多様性の一部を成しています。洞窟探検だけでなく、自然観察や写真撮影を通じて、観光客は自然保護の重要性について学ぶ機会を得ることができます。

続いて、カティエン国立公園 (Cat Tien) についてお話しします。カティエン国立公園は、ベトナム南部に位置する熱帯雨林の保護区で、広大な森林と多様な動植物が特徴です。特に絶滅危惧種の動物や希少な植物がこの地域に生息しており、自然愛好家や研究者にとって非常に貴重な場所となっています。

ここでのエコツーリズム活動には、森林散策や野生動物観察が含まれており、訪問者は自然と密接に触れ合うことができます。例えば、夜行性の動物を観察するナイトツアーや、熱帯雨林の生態系について学ぶガイド付きツアーが人気です。こうした活動を通じて、観光客は自然環境の保護と、その持続可能な利用の重要性について理解を深めることができます。

●まとめと将来への提言

最後に、これまでの内容をまとめ、今後の展望についてお話しします。ベトナムの多様な生態系は、その自然美だけでなく、国の持続可能な発展においても極めて重要な役割を果たしています。私たちは、エコツーリズムを通じて自然の価値を再認識し、その保護に貢献することが求められています。

また、地球規模の環境問題に対しても、ベトナムはその自然資源を保護し、持続可能な発展を追求するための先導役を果たすべきです。これには、地域コミュニティの協力が不可欠であり、環境教育の推進や、持続可能な観光の導入が重要な鍵となるでしょう。

私たち一人ひとりが、自然の一部であることを忘れず、その保護に取り組む姿勢を持つことが未来の世代にとっての最良の遺産となるはずです。ご清聴ありがとうございました。